

学校通信



尼崎市立園和小学校
令和3年3月最終号

<http://www.ama-net.ed.jp/school/E40/index.html>

たくましく乗り越えましょう

校長 佐野 正信

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休業から間もなく一年が過ぎようとしています。世界中の人々が大変な思いをしたこの一年、国内の感染者数は減少してきているものの、未だ終息は見えてきません。そのような中でも、スイセンの花は甘く香り、梅の花は青空に映えて美しく咲いています。季節は着実に進み、今年も命が芽吹く季節となってきました。



いるでしょうか。もしそうであるとしたら、あの抜け殻のような臨時休業明けの子どもたちを支え励まし、エネルギーを注入してくださった保護者や地域の皆様のおかげに他なりません。本校の教職員たちも、この一年全力で子どもたちと向き合っていました。

学校アンケートでは、温かな励ましと労いの声をいただき有り難うございました。一方でいただいた厳しいお言葉につきましては、次年度の学校づくりの参考にさせていただきます。本年度も残り一ヶ月を切りましたが、引き続きどうぞよろしく願いいたします。

★令和3年度4月の主な予定です。今後変更があるかも知れませんが、3月1日時点での予定としてお伝えします。

- 4月 7日(水) 着任式・始業式 12:00頃下校
- 8日(木) 入学式
- 12日(月) 離任式(予定) 給食開始(2年～6年)
- 20日(火) 1年生を迎える会
- 22日(木) 給食開始【1年】
- 27日(火)～5月7日(金) 家庭訪問

* 4月の授業参観・懇談について

1年生	4月21日(水)	3・4校時
2・3年生	4月21日(水)	5・6校時
4・5・6年生	4月22日(木)	5・6校時
ひまわり学級	4月22日(木)	5・6校時

※始業式後の学級編制と担任発表非公開について

ここ例年お願いしていますように、始業式後に行っている学級編制と担任発表は、非公開とさせていただきます。お子様が何組になったか、また担任は誰か、保護者の皆様にとっては気になるころとは存じますが、学校から帰ってきたお子様から直接聞いてあげてください。また、学年通信にも記載していますのでご覧ください。お子様とのコミュニケーションの話題として頂きますよう、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

【ミマモルメについてのお知らせ】

本校では、緊急時の連絡にミマモルメによる一斉メールサービス(無料サービス)を活用しています。警報発令や災害発生時、学級閉鎖等、緊急時に学校からメールでお知らせするので登録をお願い致します。ミマモルメに関するお問い合わせは、株式会社ミマモルメに直接お問い合わせください。

ナビダイヤル 0570-081-300

受付時間 8:45～12:00, 13:00～17:30(土・日・祝日、年末年始を除く)
ホームページ <https://hanshin-anshin.jp/entry/>



先日、校区内のある散髪屋さんにお世話になりました。大ベテランのご主人に失礼ながら生まれ年をお尋ねすると、なんと昭和13年生まれのお年82歳でいらっしやるとのこと。髪を切

っていただきながら、貴重なお話をたくさんお聞きすることができました。戦争中は、まだ幼かったので、集団疎開には行けずに親元に残されたこと。通っていた学校は、先生たちが兵隊として次々に出征していかれるので、勉強どころではなくなったこと。運動場を耕して野菜作りをしていたこと。連日、空襲警報が鳴る度に暗くて暑い防空壕へ逃げなければならなかったのが怖かったこと。その時のB29のエンジン音が今でも忘れられないこと。住んでいた町から大空襲で燃え上がる大阪のまちの上空が真っ赤に染まっていたこと。戦争が終わった瞬間、(ああこれで死ななくてすむんだ)と心から安心したこと。ただ、戦後は食べ物がなく、いつもお腹を空かしていたこと。何より社会のルールや価値観そのものが根本的に変わってしまったというお話は大変興味深いものでした。

昭和20年代のお話というのは、なかなか聞くことができません。そのため、まるで昨日のことのよう生き生きと語られるご主人のお話思わず聴き入ってしまいました。最後にご主人が言われました。「あの戦争に比べたら、街も燃えずにあるし、ご飯も食べられるし、何より明日の命の心配をしなくてもよいのは幸せなことだ。」と。私は、このコロナ禍においても、あらためて戦災を乗り越えられた人生の大先輩の強さというものを感じました。

これまでのご支援に感謝いたします

「何事も経験」と申します。子どもたちはこの一年、短い人生の中でも経験したことのないコロナ禍の不安と向き合いながら過ごしてきました。まだ先行きは不透明ですが、何年、何十年か経ったとき、子どもたちは「あのコロナの時に比べたら…」と、たくましく人生を歩んでくれて

